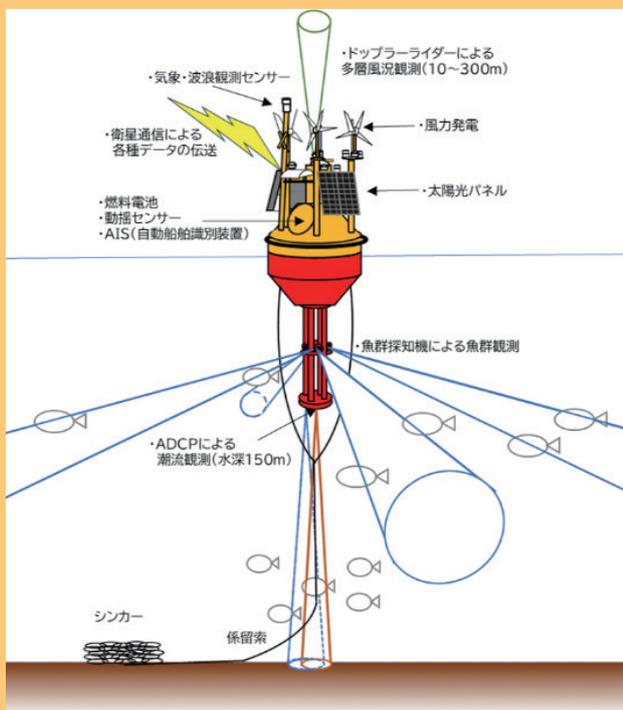


フローティングライダーシステムとは

フローティングライダーシステムとは、洋上風力発電事業化検討に必要な風況観測のために開発されたドップラーライダーを搭載した、浮体型の洋上風況観測システムです。ドップラーライダーは、レーザー光を大気中に照射し、大気中の塵や微粒子（エアロゾル）の散乱光を受信することで、洋上で高さ約200mまでの鉛直方向の風向・風速を連続して観測できます。

洋上風力発電事業を検討する際には、その事業性を判断するため、沿岸から10km以上離れた沖合では、フローティングライダーシステムによる風況観測を実施します。風況観測で得られたデータは、事業化検討のみならず、発電設備（風車等）の設計にも用いられます。



パスコのフローティングライダーシステム

パスコが導入したフローティングライダーシステムは、風況と魚群の同時観測を可能にした、国内初の浮体式観測装置です。

このフローティングライダーシステムは、造波抵抗が小さいブイ型浮体で、ドップラーライダー、気象・波浪観測センサー、流向・流速計（ADCP）、マルチチャンネル魚群観測装置で洋上の風況や潮流などの海象、魚群の観測がオールインワンで行える浮体式観測装置です。観測機能をひとつにまとめているため、対象となる海域調査の効率化やコスト削減に貢献します。

2025年9月から実海域での調査を開始しています。

表紙解説

実海域で、台船から投入するパスコのフローティングライダーシステムと投入後の様子（枠内）。

フローティングライダーシステムの下部構造が確認でき、また、作業員との比較から実際の大きさがわかる。

